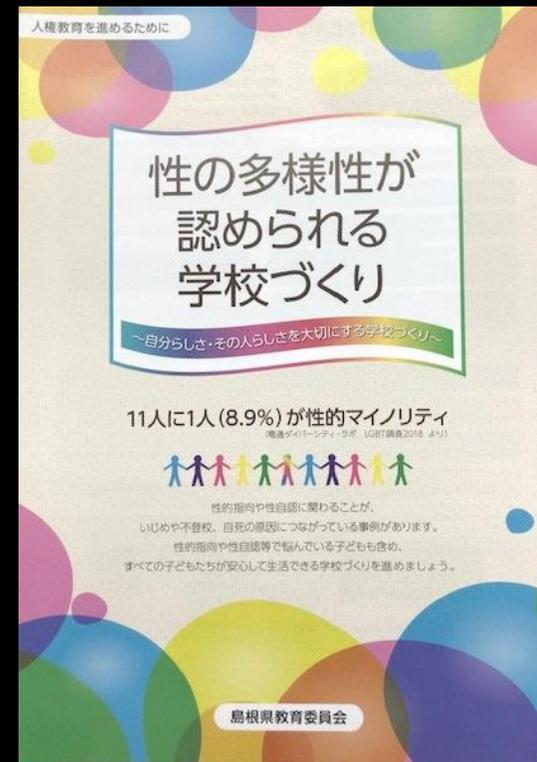


性の多様性が認められる学校づくり①

性のあり方・考え方

島根県教育庁人権同和教育課



◎ねらい

- 1 性は多様であることを理解する
- 2 性の多様性が認められる学校づくりを進める必要性を理解する



◎流れ

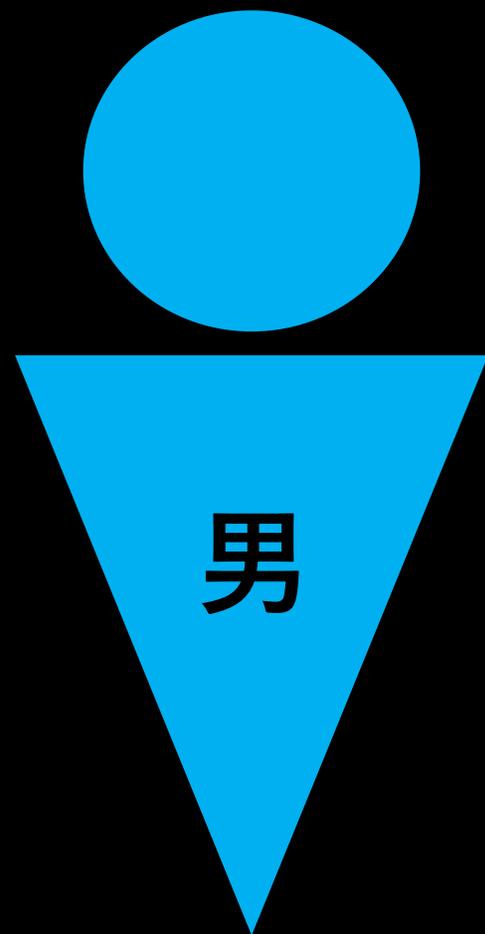
- 1 性のあり方・考え方
- 2 性の多様性が認められる学校づくりは、なぜ必要なのでしょうか？



1 性のあり方・考え方

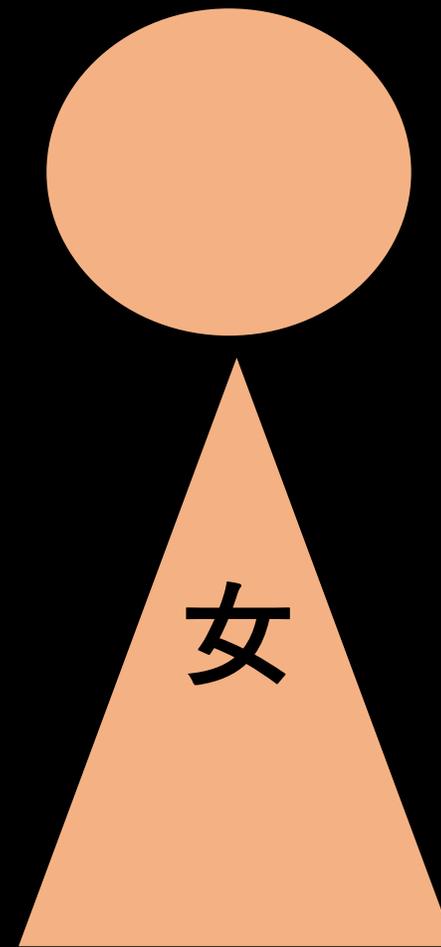


みなさんは「性」をどのようなものにとらえていますか？



からだの特徴の違い

男女の2つのみに分けられる



◎性は多様なもの

○性の構成要素



性には**複数の要素**がある



性のあり方の組み合わせ

カラダ



2通り



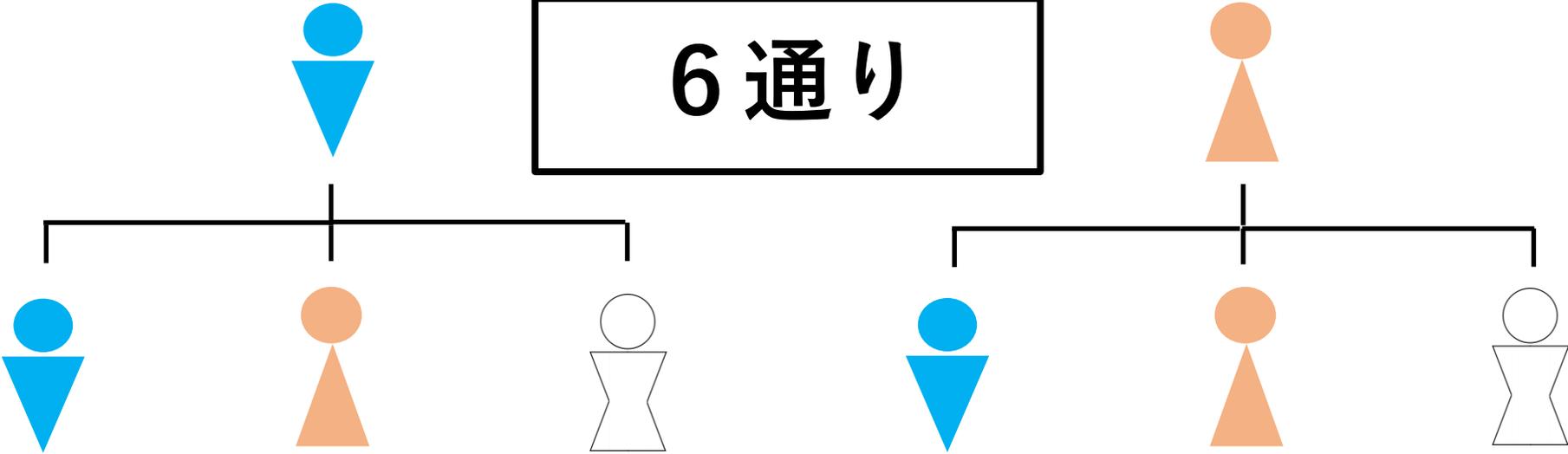
 = 男  = 女

性のあり方の組み合わせ

カラダ

ココロ

6通り



 = 男  = 女  = どちらでもない

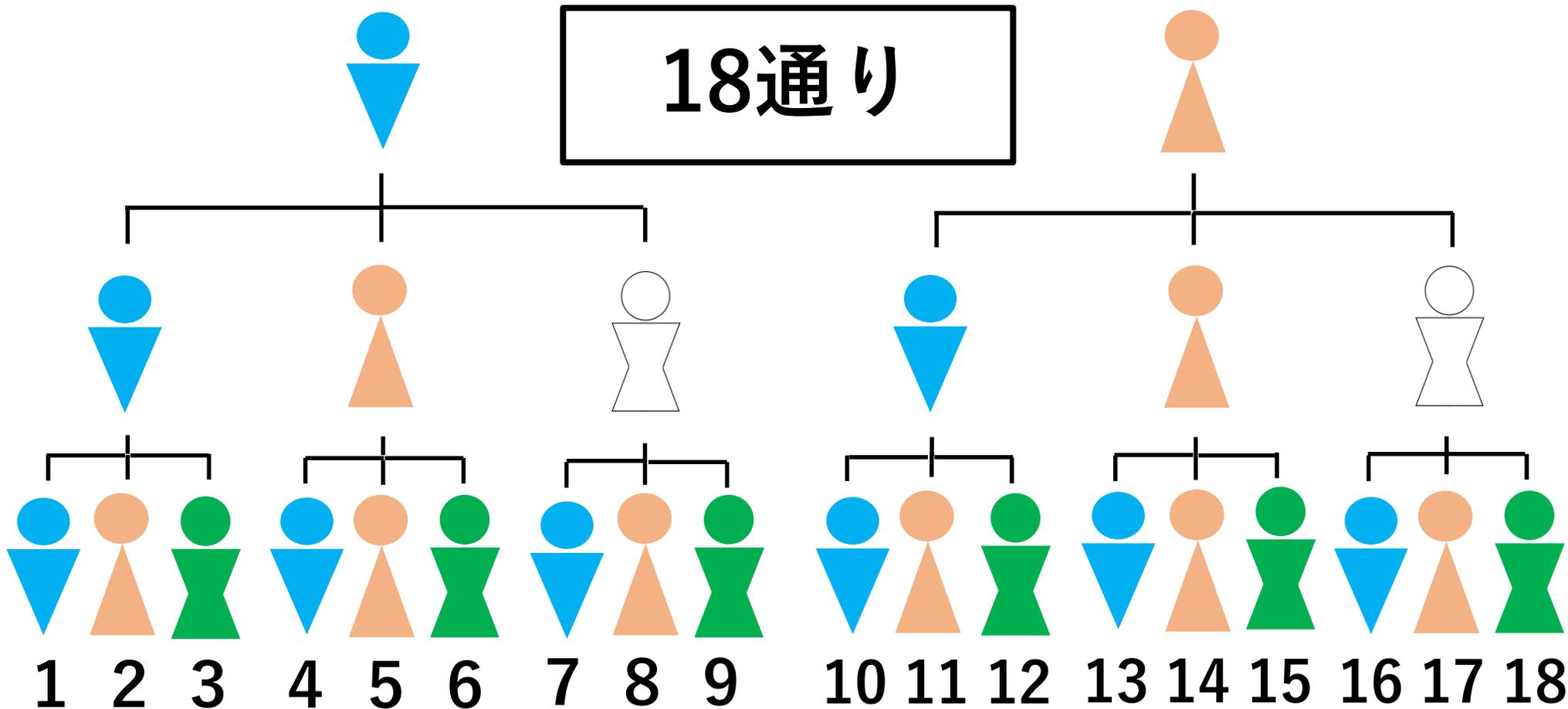
性のあり方の組み合わせ

カラダ

18通り

ココロ

スキ



 = 男  = 女  = どちらでもない  = 両方とも

性のあり方の組み合わせより

2通り



18通り

性のあり方の組み合わせ

カラダ



 = 男  = 女

性のあり方の組み合わせ

カラダ

ココロ

スキ

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18

 = 男  = 女  = どちらでもない  = 両方とも

性は多様なもの



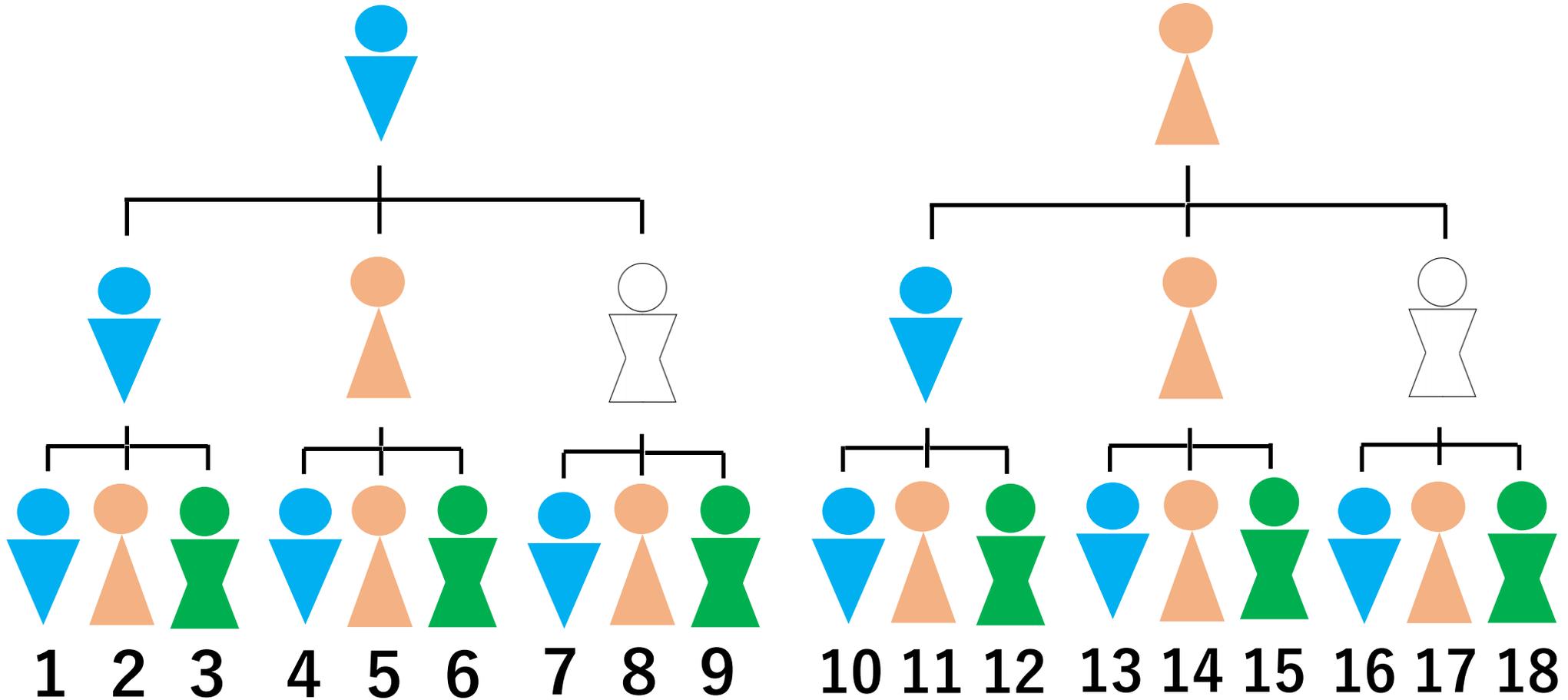
性のあり方の組み合わせ

カラダ

ココロ

スキ

表現



さらに多くの組み合わせ

次に示すような人は、図のどこにあてはまる？

カラダの性
女性

ココロの性
女性・男性の
揺らぎがある

スキの性
なし

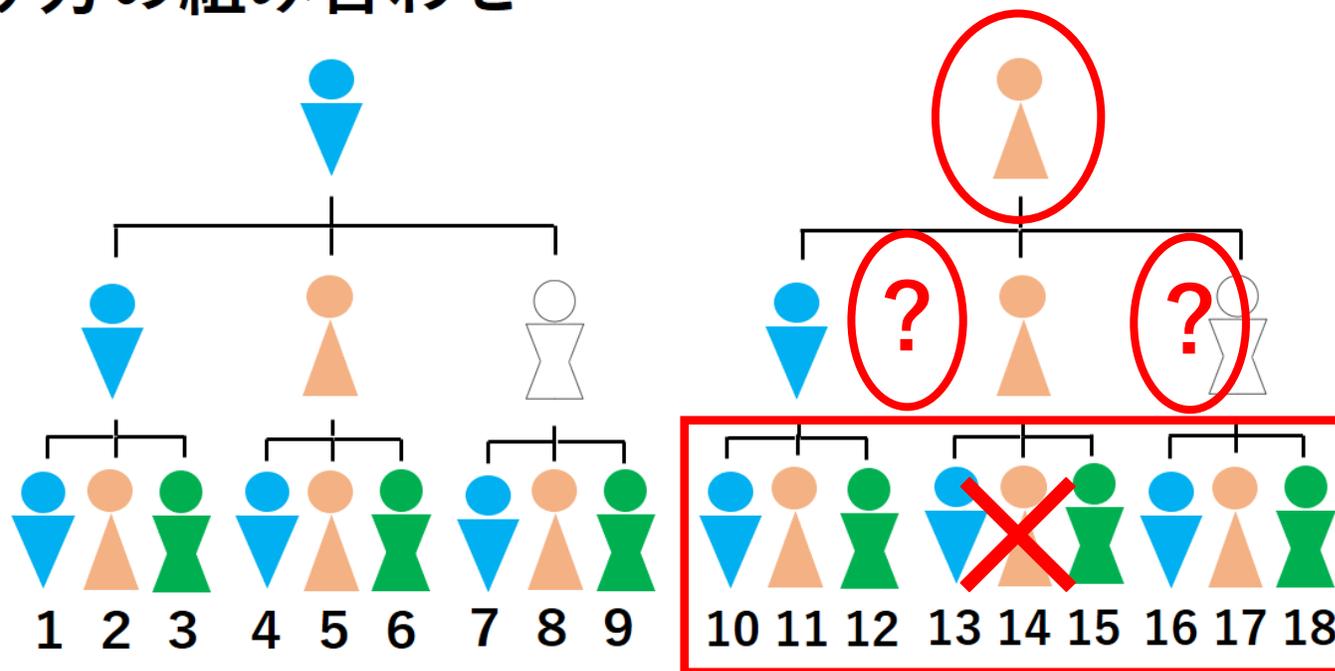
性のあり方の組み合わせ

カラダ

ココロ

スキ

表現



♂ = 男 ♀ = 女 ☹ = どちらでもない 🟢 = 両方とも

この図にはあらわされていない



性のあり方の組み合わせ

カラダ

ココロ

ココロの性は
日によって異なる、
揺らぎがある...

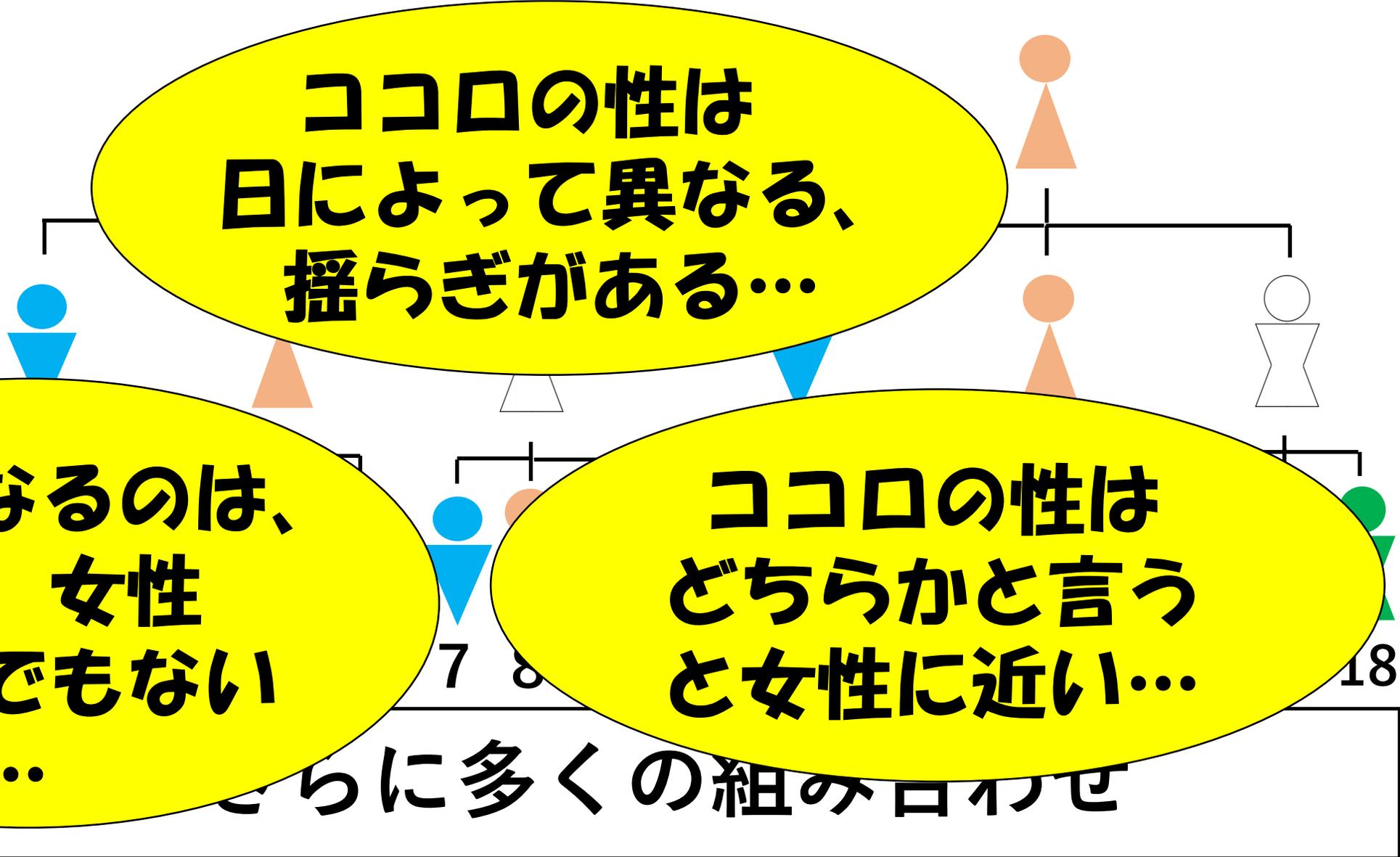
スキになるのは、
男性、女性
どちらでもない

ココロの性は
どちらかと言う
と女性に近い...

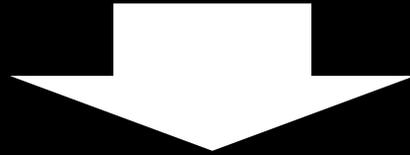
表現

...

... どちらに多くの組み合わせ



性のあり方を、組み合わせの図で示すことには限界がある



それぞれの要素の組み合わせでは、すべての性をあらわしきれない



◎ここまでのまとめ

- 性は、カラダの性以外にもさまざまな要素がある
- それぞれの要素の組み合わせでは、すべての性をあらわしきれない



性のとらえ方（考え方）

一人一人顔や性格が違うように、性のあり方も多様であり、人それぞれである



◎LGBT

Lesbian (レズビアン) 女性の同性愛者

Gay (ゲイ) 男性の同性愛者

Bisexual (バイセクシュアル) 両性愛者

Transgender (トランスジェンダー)
カラダの性とココロの性が異なる人

→それぞれの「人」を示す語の頭文字

→性的マイノリティの総称のひとつ



◎SOGI (ソジ・ソギ)

Sexual Orientation

性的指向…誰を好きになるか・ならないか

Gender Identity

性自認…自分の性別を何と認識するか・しないか

→すべての人の性に着目した表現



◎ LGBTとSOGI

LGBT それぞれの「人」を示す語の頭文字

→特定の人に関する問題

SOGI すべての人の性に着目した表現

→すべての人に関すること

性の多様性→すべての人に関すること、誰もが当事者という意識が大切



2 性の多様性が認められる学校づくりは、
なぜ必要なのでしょうか？



本来、性は多様なもの



男女2つのみの区別

〈例〉 しくみ 制度 設備

習慣 考え方 雰囲気など



11人に1人（8.9%）が性的マイノリティ

（電通ダイバーシティ・ラボLGBT調査2018より）

30人学級ならば、

学級に2～3人はいるかもしれない…



性的指向・性自認について、悩みや不安をもつ
児童生徒がいるかもしれません

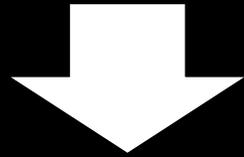
私って病気なの
かなあ？

打ち明けたら、友達
が離れていってしま
うかも？

変な子だと思わ
れてないかなあ？



30人学級に、
性的指向・性自認について悩みや不安をもっている児童生徒が
2～3人はいるかもしれない…

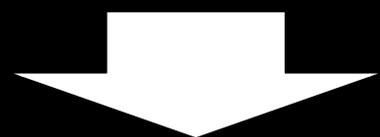


性的指向・性自認について
→児童生徒へ配慮や支援を進める

性の多様性が認められる学校づくり



「LGBT当事者」は、いじめ被害、不登校、
自死を考えたこと等の経験割合が高い



見方を変えてみると

いじめ、不登校、自死等の原因に、性的指
向・性自認に関する悩みや不安が関係して
いるかもしれない



性の多様性が認められる学校づくりを進めることは、いじめ防止、不登校予防、自死予防などにつながる

誰もが安心して生活できる学校づくり
につながる



性の多様性が認められる学校づくりの必要性

- ◎性的指向・性自認について、悩みや不安をもっている児童生徒がいるかもしれない
→配慮や支援を進めることが大切
- ◎いじめ防止、不登校予防、自死予防等につながり、誰もが安心して生活できる学校づくりにつながる



性の多様性が認められる学校づくりを進めるために、教職員にどのようなことができるのか？

性の多様性が認められる学校づくり②
教職員にできること編 に続きます

最後に、リーフレットについて紹介します



性の多様性が 認められる 学校づくり

～自分らしさ・その人らしさを大切にする学校づくり～

11人に1人(8.9%)が性的マイノリティ
(電通ダイバーシティラボ LGBT調査2018 より)



性的指向や性自認に関わることで、
いじめや不登校、自死の原因につながっている事例があります。
性的指向や性自認等で悩んでいる子どもも含め、
すべての子どもたちが安心して生活できる学校づくりを進めましょう。

各学校の実態に合わせて、 見直しや取組のヒントに

- ① 性の多様性に関わる悩みや
思いと支援・配慮
- ② 性の多様性に関する
基礎知識

まずは教職員の理解を

